

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

受験番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。

技術部門		部門
選択科目		
専門とする事項		

問題番号	Ⅱ-2-地域公共交通
------	------------

← 解答する問題番号（1又は2）を点線の枠内に必ず記入すること。
○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1 . 調査、検討すべき事項とその内容
(1) 既存の公共交通ネットワークの調査
立地適正化計画によって設定された、居住誘導区域や都市機能誘導区域に接続されている公共交通ネットワークを調査する。調査にあたっては、実際に公共交通に乗車し乗車環境や停留所アクセスの負担、利用状況及び利用者属性を把握する。
(2) 関連計画及び上位計画の把握
上位計画となる自治体の総合計画及び都市マスタープランから、対象区域の将来都市像を把握する。また、関連計画となる立地適正化計画や高齢者福祉計画等の施策をとりまとめる。
(3) 既存の網形成計画・連携計画等の評価
地域公共交通計画の前進となる計画がある場合、実施された施策については、事業費や事業効果を把握する。実施されなかった施策については、その要因を抽出しとりまとめる。
2 . 業務を進める手順と留意点、工夫点 ①

① 法定計画なので、法に定められた記載事項は、手順に必ず入れましょう。法に定められた記載事項は、①基本的な方針、②計画の区域、③計画の目標、④事業実施主体、⑤達成状況の評価、⑥計画期間となります。下線の項目に不足が見られますので、簡単で良いので記載しましょう。

(1) 課題の整理
鉄道駅やバス停の勢力圏と人口密度のメッシュデータを重ねあわせ、 <u>各路線沿線の人口集積状況を整理す</u>

●答案用紙の解答欄の枠内に記載した解答のみ採点対象とします。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

る②。この時、関係者間で議論がしやすいようネットワークを図化し見える化する工夫を行う③。公共交通事業者にデータの提供を依頼する場合は、利用目的や分析方針等の認識を双方で共有することに留意する④。

- ② 見出しは課題整理ですが、この部分は現況整理ではありませんか。見出しに現況分析も含め、本文中には、現況を踏まえ課題を整理するといった記載をしてはいかがでしょうか。
- ③ 図化と見える化が類似しています。→「ネットワーク図を作成するなど見える化するための工夫を行う。」
- ④ 課題整理上の留意点なのか疑義があります（現況整理ですかね）。

(2) 目指すべき将来ネットワークの設定

立地適正化計画で示された将来的な都市構造や基幹的な公共交通軸を踏まえ、目指すべき公共交通ネットワークを設定する。この時、鉄道や基幹バス等の交通モードや運行本数等のサービスレベルを具体的に記載する工夫を行う⑤。また、都市機能の誘導や増進に関する施策と連携を図ることに留意する。⑥

- ⑤ なぜ具体的なサービスレベルを記載するのか、理由を記載すると良いと思います。
- ⑥ ①の通り、計画区域をの設定をここに記載すると良いでしょう。

(3) スケジュール及び目標値の設定

交通不便地域やラストワンマイルを補完するモビリティ対策等、施策の実施スケジュールや目標値を設定し、計画案をとりまとめる⑦。この時、目標運行回数や将来需要の推計、採算性がどの程度であるか等のア

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

アウトカム指標を設定 ⑧ する工夫を行う。移動手段を単に確保するだけでなく観光振興や福祉的観点を取り入れる等、地域の実情に即した施策とすることに留意する ⑨。 ⑩

- ⑦ 目標を設定して終わりではなく、目標を達成するための「施策」がないですね。項目として追加しましょう。
- ⑧ 目標回数は、施策の実施も目標でありアウトプットではありませんか。アウトカムというと高齢者の外出回数、公共交通利用転換による温室効果ガス削減などアウトプットの先にある目標値であるべきです。
- ⑨ 見出しは、スケジュールと目標です。施策は、別途項目を立てましょう。
- ⑩ 目標に対する評価、実施主体（施策でも可）、計画期間などを追記しましょう。

3. 調整方策

(1) 効率的・効果的な業務遂行のための関係者

地域住民、国、都道府県、庁内関係機関、警察、地元企業、交通事業者、観光協会、社会福祉協議会等。

(2) 関係者との連携・調整について

関連する自治体や関係機関等に対しては、地域公共交通活性化協議会での客観的な情報に基づく協議を行う ⑪。住民に対しては一方的な情報提供だけでなく、協議会への参画や、ワークショップやパブリックコメントを通じて、双方の意見交換を行い調整する ⑫。
以上

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

- ⑪ 「関連する自治体や関係機関等に対しては」では、協議対象が分かりません。よって、法定協議会を指しているのであれば、その団体を書いた方が良いでしょう（スペースが無ければ、法に定められた団体としても良いでしょう）。客観的な情報が抽象的です。重要な部分なので例示等を記述し具体的に述べた方が良いでしょう。
- ⑫ 双方とありますが、誰と誰ですか。